

42

| 東京

—
2020.06.22

世界中から注目を集めている

42

2020年、日本初上陸。

誰もが平等に挑戦できる。

「教育格差」および「IT教育システム」に課題を抱える日本。

さらに、2030年にはエンジニアが約79万人※不足すると予測されており、優秀なエンジニアの育成は企業・国にとって、喫緊の課題といえます。

そこで、誰でも学費無料で、質の高い教育を受けられる機会を提供します。

挑戦したい人であれば、学歴も家庭環境も問いません。

「日本のIT業界を支えるトップエンジニア達をひとりでも多く育てる。」

そんな夢に「42 Tokyo」は果敢に挑戦していきたいと思っております。



学費無料、革新的な教育システムによる プログラミングスクール「42 Tokyo」 2020年開校！

スケジュール



2019年11月7日

- プレスリリース配信
- 生徒募集スタート

2020年1月

- 入学試験 Piscine 開始

2020年6月

- 第1期入学

運営

一般社団法人42 Tokyo

キャンパス

住友不動産六本木グランドタワー

〒106-6224 東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー
東京メトロ南北線六本木一丁目駅直結
日比谷線・大江戸線「六本木駅」から徒歩5分



2013年にフランス パリ本校を設立し、
2016年にはシリコンバレー校設立。

現在は**16カ国**で、開校。

世界中で開校が所望されている。

(企業や個人の寄付で運営)

- 実践型カリキュラムが組まれている。
- 世界の企業から最新の問題が共有され、課題として取り上げられることにより、常にアップデートされている。
- 24時間365日開放されたキャンパスで、ライバルと協力しながら切磋琢磨することで、高度な技術を短期間で習得できる。



技術的なトレンドを熟知した卒業生が輩出されている。

<フランスのIT教育の壊滅的な状況>

お金・学歴による教育格差の拡大
(優秀なエンジニアになり得る可能性の損失)

現在の教育システムでは、IT業界の
進歩についていけない

今後さらに重要となるITにおいて他国の後塵を拝せば、企業・国の衰退に繋がると危惧

フランスの教育を民間で変える

フランスの資産家が私財を投入し（設立から10年間の運営資金）、
学費無料の革新的な教育システムを有するプログラミングスクールを創立。



学費無料

入学金、授業料、教材費は寄付によって賄われております。経歴やプログラミング経験も不問。誰でも平等に挑戦することができます。（適性テストがあり、それに合格した学生のみが入学できる仕組み）

※応募資格：18歳以上の方



学生の進路の自由

学生は自分の意思で、自由に進路を選ぶことが可能です。



24時間365日オープン

校舎がいつでも開いているので、好きな時間に好きなだけコードを書くことができます。時間に縛られる教育はここにはありません。



常にアップデートされる教材

IT業界のテクノロジーはまさに日進月歩、常に新しい戦いが繰り広げられています。セキュリティ問題等、教材は常に更新されるため、学生は世界最先端の旬な技術課題に触れることが可能です。



「42」はあらゆる意味で革新的で、現代的で、素晴らしい学校だと思います。学校名は、SF小説の名作『銀河ヒッチハイク・ガイド』の中で、「宇宙の究極の問い」に対する答えが「42」だったということに由来しています。

お互いに協力し合いながら、最先端のプログラミングをプロジェクトベースで探求学習する。卒業生はグーグルやツイッターやフェイスブック、アップルのような企業で働いたり、自ら起業したりする。しかもすべて無料である。

そのような素晴らしい学校がフランスやカリフォルニアにはあって、日本にはないのが残念だねと、あったらいいのにねと、ここ数年、大学の授業などで何度も学生たちに言って来ました。

その「42」が、日本でも開校すると知り、驚くとともに、胸の高鳴りと期待が抑えられません。「42」に学ぶ人たちが、日本における破壊的イノベーションの中心となって、この国を、そして世界を大きく変えていってくれることを期待しています。

「42」で学ぶ人の脳は、最大限に活性化することでしょう。見たことのない景色を見ることでしょう。志ある方々は、ぜひ、「42」に集っていただきたいと思います。

「42」には、人類の未来があるのです。

茂木健一郎（脳科学者）



日本のトップレベルのIT業界の人材不足は深刻です。
しかしIT分野はトレンドが目まぐるしく変わりますので、大学教育でそれを補うのは難しい分野です。
ですから、42がいつか日本に来てくれればと常々思っておりました。

学費が免除されているので、どんな家庭環境の学生でも挑戦ができます。

多額の寄付が必要なので、日本の開校は難しいかと思っておりましたので、2020年の42東京開校は、大変嬉しく思います。オールジャパンで、応援して多くの優秀な人材を輩出していただけたらと思います。

鈴木寛（東京大学教授・慶應義塾大学教授 元文部科学副大臣）



42 Tokyoが開かれることをとてもうれしく思います。
パリの42本校は2回ほど見学にいきましたが、学生が高いモチベーションを持って自ら活動しており、誰にも開かれた可能性、学生目線の施設運用、そして学生が学生を教えるシステムと、とても良くできていました。
こういった仕組みが日本でもできればと思っておりました。

プログラムを学ぶ学生、そして、人工知能・ディープラーニングを学ぶ学生が増えてくれれば、日本全体にとっても良い効果を生み出すと思っています。

42 Tokyoの発展と卒業生の活躍を楽しみにしております。

松尾豊（東京大学教授・日本ディープラーニング協会理事長・ソフトバンクグループ社外取締役）